



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 アルビス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7475 URL <https://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 石田 康洋

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 2022年11月7日

配当支払開始予定日

2022年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	47,038	3.2	1,087	15.7	1,342	13.8	894	12.2
2022年3月期第2四半期	45,598		1,290	7.4	1,557	5.4	1,019	2.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 934百万円 (1.4%) 2022年3月期第2四半期 921百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	102.25	
2022年3月期第2四半期	116.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	47,585	30,078	63.2	3,438.18
2022年3月期	48,463	29,450	60.8	3,366.39

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 30,078百万円 2022年3月期 29,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		35.00		35.00	70.00
2023年3月期		35.00			
2023年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,779	2.9	1,900	22.5	2,500	17.9	1,700	19.2	194.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	9,255,926 株	2022年3月期	9,255,926 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	507,559 株	2022年3月期	507,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,748,367 株	2022年3月期2Q	8,748,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、社会経済活動が正常化に向かう中、各種政策の効果もあり、持ち直しの動きが見られました。一方、新たな変異株による感染再拡大、ウクライナ情勢の長期化、資源価格・原材料価格の高留まりや急激な円安の進行等、依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、消費者マインド低下に伴う節約志向の継続、業種業態を超えた競争激化や人件費上昇、原材料価格・電気料等の高騰により厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループはスーパーマーケットとして食のライフラインを守るという使命を果たすため、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、お客様ニーズに細やかに対応し、店舗の営業継続に取り組んでまいりました。

昨年度よりスタートしております「第三次中期経営計画（第55期～第57期）」は、「地域一番のお客様満足の実現」を中期経営方針に掲げ、「お客様の多様なニーズへの対応」「従業員が挑戦できる環境の実現」「業務基盤の活用による生産性の向上」「事業を通じた地域社会の課題解決」を重点課題とし、以下の施策に取り組んでおります。

「お客様の多様なニーズへの対応」については、ニーズの高い旬の生鮮品や名物商品および健康志向・簡便即食商品等の販売強化を図っております。また、PB商品などの高利益商品を拡充することで売上総利益率を改善しました。さらに来店受取型ネットスーパーは、9月に「野々市三納店（石川県野々市市）」、10月に「笠舞店（石川県金沢市）」を加え、現在5店舗で展開しております。このほか、10月より新たなお客様との接点を広げるため「LINEミニアプリ」を導入、デジタル媒体による発信力の強化と広告の効率化を図り、アルビスPontaカードIDとの連携によるOne to Oneマーケティングの実現を目指してまいります。

「従業員が挑戦できる環境の実現」の取り組みとして、新入社員から経営幹部候補までの各階層に応じた教育プログラムに加え、店長が最新の店舗運営を習得するオンサイトプログラムを導入しました。また、地域社会を見守る認知症サポーター、熱中症対策アドバイザーの資格取得を推進しております。

「業務基盤の活用による生産性の向上」については、店舗業務における有効な改善施策を各店で共有・展開することでさらなる生産性向上につなげております。また、プロセスセンターにおいては継続的に製造工程のムダを見直し原価率を改善、物流については積載効率を改善し、運行数を削減させております。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、「つなぐアルビス」をコミュニケーションメッセージに掲げ、地域・行政と連携し、地域社会の課題解決に努めております。今期においては、富山県と連携し、7月に「熱中症予防キャンペーン」を実施、9月に健康な食生活を提案する「減塩セミナー」を開催しました。また、「リレーフードドライブ」については、店舗直結型の無人フードドライブを開始するとともに、「黒部店（富山県黒部市）」において他業種と協業して開催、「七尾店（石川県七尾市）」では和倉小学校の生徒とともに取り組むなど、理解の輪を広げております。

現在、SDGs目標達成や脱炭素社会の実現などの環境保全に関する取り組みを「albis Green Action」と総称し、従来からのトレイ・ペットボトル回収などのリサイクル事業に加え、プラスチック使用量削減、CO2排出量削減の取り組みを推進しております。4月よりお客様にお渡しするスプーン・フォーク等をバイオマスプラスチックに変更、12月にはレジ袋をバイオマス50%使用に変更します。また、店内照明照度・空調温度及び冷蔵ケース温度を見直し、全社一丸となって節電に取り組むなどCO2削減を推進しております。さらに今後は、当社におけるGHG排出量の測定を行い、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

新店につきましては、4月に富山県小矢部市に「いすろぎ駅店」、7月に富山県黒部市に「黒部店」を出店しました。お買物支援と地域の見守りに取り組む「移動スーパー」は、10月末現在で16台運行しております。

2023年夏には愛知県名古屋市北区に中部エリア3店舗目となる新規出店を予定しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、前期新店3店舗と当期新店2店舗による売上増加により、営業収益47,038百万円（前年同期比3.2%増）となりました。利益面につきましては、高利益商品であるPB商品などの販売拡大とプロセスセンターの原価改善により売上総利益率が改善（前年同期比0.7%増）したものの、電気料・各種資材の価格高騰により、営業利益1,087百万円（前年同期比15.7%減）、経常利益1,342百万円（前年同期比13.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、894百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ878百万円減少し、47,585百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の減少額874百万円、商品の増加額220百万円、建物及び構築物（純額）の増加額256百万円、その他の有形固定資産の減少額162百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,506百万円減少し、17,506百万円となりました。

この主な要因は1年内返済予定の長期借入金の減少額344百万円、流動負債その他の減少額301百万円、長期借入金の減少額858百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ628百万円増加し、30,078百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額588百万円、その他有価証券評価差額金の増加額39百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ874百万円減少し、6,054百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ316百万円増加し、1,643百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの内訳は、税金等調整前四半期純利益1,342百万円、減価償却費1,028百万円、売上債権の減少額89百万円等による資金の増加と、賞与引当金の減少額134百万円、棚卸資産の増加額245百万円、未払消費税等の減少額79百万円、法人税等の支払額227百万円等による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ781百万円減少し、805百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの内訳は、敷金及び保証金の回収による収入72百万円による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出917百万円、敷金及び保証金の差入による支出60百万円等による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ24百万円減少し、1,712百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの内訳は、長期借入金の返済による支出1,203百万円、配当金の支払額305百万円、リース債務の返済による支出203百万円による資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、営業収益は当初予想通り94,779百万円となりますが、電気料・各種資材の当面の高留まりが見込まれることから営業利益1,900百万円（当初予想比26.5%減）、経常利益2,500百万円（当初予想比19.4%減）、親会社に帰属する当期純利益1,700百万円（当初予想比21.3%減）へ変更となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,928,689	6,054,171
売掛金	2,366,260	2,277,173
商品	2,078,860	2,299,768
原材料及び貯蔵品	147,377	171,710
その他	1,458,265	1,391,699
貸倒引当金	△68,590	△77,437
流動資産合計	12,910,862	12,117,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,807,128	16,063,810
土地	11,357,995	11,357,655
その他(純額)	2,727,386	2,565,081
有形固定資産合計	29,892,511	29,986,547
無形固定資産		
のれん	102,991	78,063
その他	820,420	761,476
無形固定資産合計	923,412	839,540
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,558,805	3,540,374
その他	1,509,708	1,428,206
貸倒引当金	△332,224	△326,712
投資その他の資産合計	4,736,288	4,641,868
固定資産合計	35,552,212	35,467,956
資産合計	48,463,075	47,585,043
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,249,786	5,166,295
1年内返済予定の長期借入金	2,195,073	1,850,491
未払法人税等	318,370	435,494
賞与引当金	661,881	527,355
その他	3,859,885	3,558,727
流動負債合計	12,284,995	11,538,364
固定負債		
長期借入金	4,206,151	3,347,490
受入敷金保証金	611,279	713,587
資産除去債務	827,761	876,365
その他	1,082,477	1,030,807
固定負債合計	6,727,669	5,968,250
負債合計	19,012,665	17,506,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908,337	4,908,337
資本剰余金	5,633,238	5,633,238
利益剰余金	20,149,484	20,737,826
自己株式	△1,232,934	△1,232,934
株主資本合計	29,458,126	30,046,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,716	31,959
その他の包括利益累計額合計	△7,716	31,959
純資産合計	29,450,409	30,078,427
負債純資産合計	48,463,075	47,585,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	45,054,363	46,486,728
売上原価	32,200,455	32,897,825
売上総利益	12,853,907	13,588,903
不動産賃貸収入	544,558	551,832
営業総利益	13,398,466	14,140,736
販売費及び一般管理費	12,107,690	13,052,917
営業利益	1,290,775	1,087,818
営業外収益		
受取利息	6,568	6,384
受取配当金	12,034	11,981
受取手数料	20,715	18,783
受取販売奨励金	89,374	91,756
その他	178,307	175,792
営業外収益合計	307,000	304,698
営業外費用		
支払利息	12,658	13,568
出向者給与	21,188	23,184
その他	6,785	13,612
営業外費用合計	40,632	50,365
経常利益	1,557,144	1,342,151
税金等調整前四半期純利益	1,557,144	1,342,151
法人税、住民税及び事業税	380,677	346,201
法人税等調整額	157,114	101,415
法人税等合計	537,792	447,616
四半期純利益	1,019,352	894,534
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,019,352	894,534

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,019,352	894,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97,823	39,676
その他の包括利益合計	△97,823	39,676
四半期包括利益	921,528	934,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,528	934,211

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,557,144	1,342,151
減価償却費	1,019,244	1,028,838
のれん償却額	24,927	24,927
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,644	3,334
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△204,955	△134,525
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,478	△16,580
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,048	—
受取利息及び受取配当金	△18,603	△18,365
支払利息	12,658	13,568
売上債権の増減額 (△は増加)	44,144	89,087
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△264,559	△245,239
支払債務の増減額 (△は減少)	△10,407	△311,283
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△257,297	△79,628
その他	256,641	175,695
小計	2,134,864	1,871,980
利息及び配当金の受取額	12,147	12,114
利息の支払額	△11,624	△12,974
法人税等の支払額	△808,709	△227,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,326,677	1,643,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,452,076	△917,578
無形固定資産の取得による支出	△15,777	△695
投資有価証券の取得による支出	△12,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△109,048	△60,976
敷金及び保証金の回収による収入	71,625	72,759
その他	△69,043	101,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,586,320	△805,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,238,199	△1,203,243
配当金の支払額	△306,501	△305,990
リース債務の返済による支出	△192,346	△203,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,737,047	△1,712,784
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,996,690	△874,517
現金及び現金同等物の期首残高	5,914,694	6,928,689
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	11,127	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,929,131	6,054,171

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。